

USE 2025 参加報告 M1 塚田有哉

11月12～14日に開催されたUSE 2025に参加しました。11日には開催地である島根県松江市に前乗りし、13日にポスター発表、12日と14日は発表を聴講するというスケジュールでした。

私自身、初めての学会発表だったこともあり、会場に足を踏み入れた瞬間から独特の緊張感に包まれ、完全に気圧されていました。しかし、いざ発表が始まると、準備してきた内容が自然と口から出て、質疑にも落ち着いて対応できました。また、終盤には接着を専門とする企業の方々が次々と訪れ、普段とは全く異なる視点から質問が飛び交うボスラッシュのような時間に突入。議論に夢中になっているうちに、予定時間を20分以上オーバーするほど濃密なセッションとなりました。終了後には達成感を感じると共に、発表前に緊張して食べなかった昼食のことを思い出し、島根での貴重な一食を逃したことを後悔するばかりでした。

さて宿泊についてですが、出張の1か月前には、同期の西内くんとホテル代節約のため相部屋で泊まることを決め、彼が部屋も手配してくれました。ところが、予約画面を確認するとまさかのツインではなくダブルベッド。彼は本気で申し訳なさそうに謝っていましたが、普段床にクッション1枚敷いて寝ている僕にとっては、ベッドがあるだけで極楽です。むしろ、あんなふかふかの場所で寝られるのなら感謝しかありません。ありがとう西内君。また、ホテル自体もなかなか個性的で、蛇口から常に熱湯が出てきたり、家具に対して部屋が異常に広かったりと、ツッコミどころ満載。それでも、全部ひっくるめて良い意味で味のあるホテルで、こういう予想外の出来事こそ出張の醍醐味だと感じました。

今回の学会を通じて、自分の研究について深い議論ができた一方で、他の研究者の発表を聞く中で、自分の知識不足も痛感しました。この経験を糧に、今後さらに勉強を積み重ねていきたいと思います。



ダブルベッド
(一人用と同じ大きさらしい)



松江城を攻略しました



感謝のポーズ
(出雲大社)